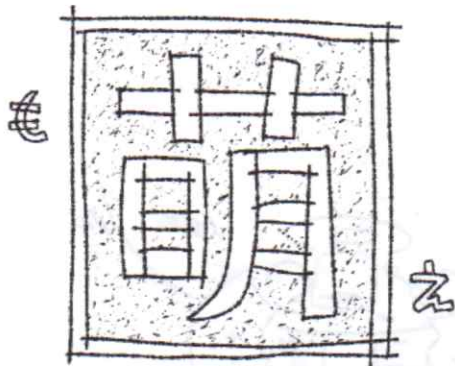




平成 19 年 3 月 6 日

発行：宮崎中学校区地域教育会議

議長：持田正美

宮崎中学校区地域教育会議だより

第 19 号

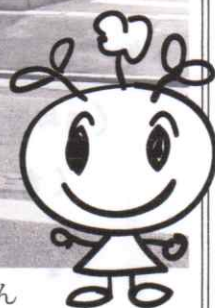
できたらいいね

駅前交番

みなさんは、**梶が谷駅ロータリー**の真ん中に小さな**花壇**があるのをご存知でしょうか。実はここ、**交番を建てるための用地**として用意された土地なのです。あとは建物を建てて人員を配置すれば、ながらく交番不在の梶ヶ谷にも防犯の拠点ができるはずなのですが、いまはまだきれいな花が咲いているばかり。**梶ヶ谷に交番はできないのか？**今回は、梶ヶ谷に交番を作ろうと尽力されている「梶が谷駅前通り振興会」の鈴木さんにお話を聞きました。



moe ちゃん



Q: あの花壇は交番用の用地なんですか？

そうです。駅前の交通環境整備をするともに、街の安心安全の向上のために、東急電鉄さんをお願いして、交番を建てるための用地として確保して頂いた土地なんです。

Q: なぜまだ交番が建っていないんですか？

建物を造るのにも、そこに人員を配置するにも県警で予算を確保する必要があるのですが、どうもそこが厳しいらしいですね。もう一つは、この近辺で交番を作るのに、その必要性の順番からいくと梶ヶ谷は2番

目なのだそうです。さらに、将来、東急線が複々線化したときに、用意してもらった場所だと建物を移転しなければならない可能性があつて、それも不利な条件になっているかもしれません。

Q: とはいっても、大きな事件もあったし、このあたりも人口がどんどん増えていますよね。交番がないと何かと不安です。

そうです。駅前通り振興会は「梶ヶ谷駅前まちづくり協議会」とも協力し、各方面へ働きかけて、交番建設へ向けて前向きに努力していくつもりです。

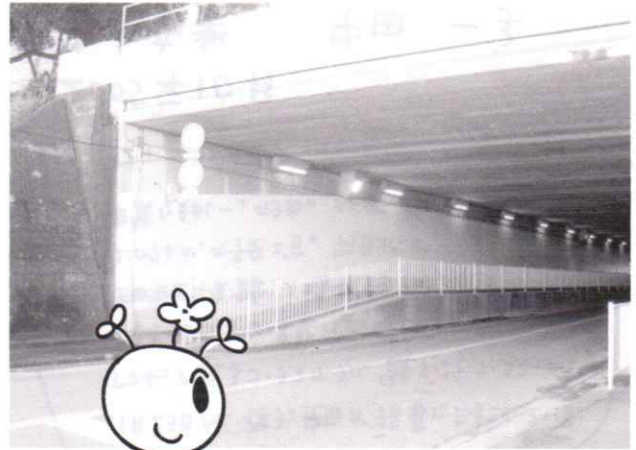
鈴木さん、お忙しい中ありがとうございました。警察への働きかけには、私たち地域住民による**署名活動も有効な手段**です。みんなで地域の防犯を考えましょう。

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。

明るくなったトンネル

第2 梶ヶ谷
架道橋

昨年9月に痛ましい事件が起きた、貨物線のトンネル。以前より、その暗さや落書きだらけの壁、放置ゴミなどが問題になっていました。事件後、町内会、JR、ボランティアなどの努力で、草刈り、ゴミの撤去がなされ、照明は明るくなり、歩道の柵も新しくなりました。落書きをきれいに消された壁は、真っ白に塗られ、有志の中学校生徒によって壁画が描かれることになっています。トンネルの中ほどには事件以来絶えることなく花が供えられています。2度と恐ろしい事件が起きないようにと願ってやみません。



照明が明るくなりました。



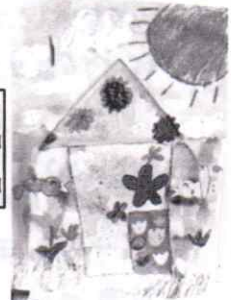
夜になると明るさがよくわかります。

中学生による壁画制作は、第2 梶ヶ谷架道橋を野川中学校が、第3 梶ヶ谷架道橋を宮崎中学校、東名高速道路高架下トンネルを犬蔵中学校がそれぞれ担当して制作する予定。



「ぼくのわたしのすきなまち」

ポスター展を開催



各町内・町会の掲示板にも

大人が変われば子どもも変わる運動の一環として、夏休みに開催された絵画教室の様子は前号でお伝えしましたが、そこで子どもたちが描いたポスターが、昨年11月7日から17日の期間、宮前市民館において展示されました。テーマは「ぼくのわたしのすきなまち」。自分の住むまちの好きなところや、こんなまちだったらいいなという夢を思い思いに描いた作品がならび、芸術の秋を彩りました。このあと、ポスターは、準備ができ



次第、各町内・町会の掲示板にも展示されます。どんな作品があるのか、散歩しながら探してみませんか？



中央公園



有馬町会

緑と人情味豊かな町会

町会長

内野博行さん



有馬町会は一丁目から九丁目からなる約4400世帯を抱える町会です。植木の里や、ふるさと公園、中央公園など、公園の数が多く緑があふれている町会です。また、昔からの地元のひとと新しい住民と調和が取れており、人情味あふれる町会だそうです。町会内にはいくつもの部があり、それぞれが町会のために日頃より活動しています。毎年10月に町会全体で自主防災訓練を行い、消防署を招いて、火災時に必要となる初期消火、煙体験、三角巾の使い方などの基本を毎年行います。また、公園が多いこともあり、町会の街灯が約880基も設置されており、町会内を明るく照らして防犯につとめているそうです。最近の子ども達については、今も昔と同様きちんと向き合って話しをすれば変わりはないとの事。ただし外で遊んでいる子ども達を見かけなくなったとも感じるそうです。地域の大半の子ども達が通学する、西有馬小学校や有馬中学校の生徒達はいつもと変わらず笑顔で通学しており、特に有馬中学は今年30周年を迎えるにあたって一丸となっているそうです。

(取材:持田)

梶ヶ谷貨物ターミナル駅



梶ヶ谷金山町内会

時代の流れに合わせ
町内会活動をさかんに

町内会長

横溝茂男さん



梶ヶ谷金山町内会は、尻手黒川道路、貨物線の南側にあります。野川中学校へ通う子も多く、世帯数は約370。貨物線のトンネルでは昨年9月に重大犯罪が発生しました。防犯はまず環境浄化からと、隣の町会にも声をかけてトンネルの大掃除が行われ、当日は区長や警察署長も顔を見せました。

去年の4月に町内会長になられた横溝さん。「このへんも昔とはずいぶん変わりました。かつて町内がまだ12世帯だった頃、『地神講(じじんこう)』という集まりがあり、住民は年2回、地の神様を祀り、祝宴を催し親交を深めていました。」時代が移り、生活形態も変わる中、地神講は今年の3月で長い歴史に幕を降ろします。「町内会も時代に合わせて変わらなければ。これからは新しい住民の方々にも参加してもらい、活動を活性化していきたいですね」。今、集会をしたり、こどもがのびのび遊べる施設や公園ができないか、市に要請を出しているところだそうです。「子どもたちが大人になったとき、懐かしく思い出す『ふるさと』を作ってあげたいですね」

(取材:前田)

神明社



梶ヶ谷4丁目町内会

声をかけあえるような
町づくりを

町内会長

田中利男さん



*町内会長の田中さん、会計の小山さん、副会長の陰山さんにお話を伺いました。

「4丁目町内会には470世帯が所属し、梶ヶ谷小学校、神明社を囲む一戸建ての多い閑静な住み良い町です。地域の安全については、梶ヶ谷小学校の児童の下校時間に合わせ、週1回交通安全確認・見守りを行っています。その後、町内のパトロールも4~5名のグループで西門と正門の2カ所からスタートし回っています。もうすこし参加していただける方がいたらなあ、と思っています。」

*今後に向けて何か？

「問題があれば、みんなで考え声かけあえる町内にしたいです。そのためには、ぜひ、若い方にも町内会に入っていて協力をいただけるとありがたいです。安心して生活ができる地域にするため、交番の設置についても働きかけを続けるつもりです。」

(取材:三好、山田)

4丁目でただ一件の農家、前町内会長の田村さんは、小松菜づくりの先生といわれているそうです。



◎活動報告

□「春のミニコンサート」開催



地域の演奏家を招いて開かれるこの音楽会も今年で3回目。今回は3月3日ひな祭りの日の開催となりました。出演者はピアノの白髭鈴代さん、フルートの八束岳志さんとお友達の演奏家のみなさん、インドネシアの音楽を弾き語りする中田一子さん(萌編集前田もタイコで参加)。地域教育

委員会メンバーお得意の風船デコレーションに飾られた会場は、春らしくやさしい音色に包まれ、親子連れなど約100人の参加者が穏やかなひとときを楽しみました。(地域教育委員会)



.....
□定例会 2月27日 川崎市立青少年の家にて

◎おしらせ

□青少年の家フェスタ

3月11日(日) 10:00~15:00

場所:川崎市立青少年の家

□講演会『やさしい心が一番だよ』

NPO法人ジェントル・ハート・プロジェクトによる教育講演会『やさしい心が一番だよ』を開催します。内容は、いじめに関するお話です。やさしい心(ジェントル・ハート)と命の大切さを伝えてくれます。

3月19日(月)13:30~15:15

場所:宮崎中学校体育館

講師:小森 美登里さん。

対象は、宮崎中学校生徒。希望する小中学校保護者、地域の方です。筆記用具、上履き持参。車はご遠慮ください。(問合せ:生涯学習委員会 大久保 854-5747)

小中学校入学式 4月5日(木)



メンバー募集!



宮崎中学校区地域教育会議では、随時、メンバーを募集しております。地域と子どもたちのことについて、いっしょに考えてみませんか。 問い合わせ 宮崎小学校内地域教育会議事務局 044-866-2218/044-866-2217 富田

つうみ

各家庭、学校、そして地域が三位一体となって

親が子を手にかける、子が親を刺す、家に火をつける、幼児に食を与えないで死に至らしめる、若夫婦の妻が夫を殺す、中学生の飛びおり自殺。動機は様々だろうがなんと悲惨なこと。戦前生まれの者にとっては、とても考えられないでき事を、あなたはご存知ですか。なぜ、こんなことが多発するのか。生命の大切さを知らない人が増えているのか。経済大国日本といわれているのに、なぜこんな悲惨なでき事が多発するのか。あなたはどのように思い、感じていますか。わが家には関係ないから、ほど遠いところでのでき事などと思い、「われ関せず」で済ませてしまう。今の日本社会で大きな欠点の一つが、こうした思いを持つ人が多くなっていることです。

今、全国的に地域住民としての心構えが、小さく、狭くなり希薄になっています。戦前の宮崎中学校区は広々とした農耕地で、農作業につとめてきた住民が、今は立派なお家に住んでいる。新住民は他地区からの転入家族がほとんど。こうした地域社会であるからこそ、古き住民の親和力と、新住民の博識と地域への協力意識と新郷土愛をさらに高揚されるよう住民の一人として願います。学校は、生徒を通して家庭教育の向上に多くの例を示しながら「家でできること」を強く要請し、家庭と一体となって新郷土愛を育み、さらなる向上につとめることが肝要です。子供たちが「すばらしい地域だ」と、誇りを持てるように、各家庭、学校、そして地域が三位一体となってがんばっていききたいものです。

(及川利男)

編集後記

インタビュー、取材などを仕事の合間にやるのは大変ですが地域のいろんなお話を聞ける貴重な機会でもあります。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。メンバーもお疲れさまでした。(前田)

企画・構成:宮崎中学校区地域教育会議 広報委員会

前田達彦 北原玲子 及川利男 鈴木栄子 持田正美 山田弘美 三好美佐江 斉藤重喜 渡辺正人

協力:梶ヶ谷小学校 PTA

「萌」へのご意見、ご感想は、上記事務局またはEメール;tatsuno04510@yahoo.co.jp まで